

令和 5 年度地域公共交通活性化協議会事業計画（案）

●（仮称）定時定路線型バス導入・デマンド型交通導入に向けた検討・協議

目的

田原本町における鉄道駅からの徒歩圏カバー率は、全人口の約 52%となっている。鉄道駅からの徒歩圏を中心に新住宅市街地が開発されたことから比較的高い徒歩圏カバー率を示しているが、逆に住民の約半分はタクシーや自家用車の送迎がないと鉄道を利用できない状況となっている。今後、高齢化と人口減少が見込まれる中で、運転免許の返納等が進み、自動車利用が困難な住民が増加するものと考えられ、公共交通空白地域の解消を検討していく必要がある。

事業概要

定時定路線型バスについては町内外問わず誰でも利用できる運行形態を想定している。運行委託はバス事業者等に委託することを想定しており、駅を中心に町内の主要拠点施設、商業施設を運行経路に入れる予定。新たな公共交通を導入することで町民に安全で快適に暮らしてもらえよう取り組んでいく。

また、定時定路線でカバーしきれない部分をデマンド型で細かく対応していく。以前も町内でデマンド型乗合タクシーを運行していたが、乗車の 3 時間前までに予約する必要がある、利便性が低かった。今回新たに運行するデマンド型では乗車の 1 時間前での予約が可能となり利便性が高くなると考えられる。運行エリアとしては主な交通空白地域である北東エリアと町内主要施設各所に停留所を設置する予定である。

公共交通として求められる点の整理をし、町内各地域から駅中心地へのアクセスや地域内の移動手段の必要性及び町にとって最適な公共交通の手段を検討する。

会議日程（予定）

別紙詳細